

## 日米友好祭 空輸能力を実演 *Yokota displays airlift capabilities*

September 23, 2016

Original text by Yasuo Osakabe  
374th Airlift Wing Public Affairs

9月17日・18日に開催された横田基地「日米友好祭」で、第459空輸中隊(UH-1イロコイ)と第36空輸中隊(C-130ハーキュリーズ)が実演飛行を行い、来場者たちに空輸能力を披露した。

(写真1) 日米友好祭の会場上空を飛行するUH-1イロコイから、来場者たちに手を振る第459空輸中隊のカレブ・ヤング中尉とクリストファー・レクター技能軍曹。

第459空輸中隊は、捜索、医療搬送、高官輸送等に使用するUH-1Nで空中静止を行うなど、限られた狭い場所での飛行能力などを実演した。



1

(写真2) 空中投下の実演を行うC-130を操縦する第36空輸中隊のドミニク・ヘイグ少佐。

第36空輸中隊は、編隊離陸、低コスト低高度パラシュート投下、高速戦術着陸方式等を実演した。



2

(写真3) 星条旗を持ち、C-130の機体から顔を出すロードマスターのカイル・フェイバリット技能軍曹。

日米両国のパートナーシップを示し、駐機された他の同型機には日本の国旗も掲げられた。



3